

《チョコレート工場見学と清澄庭園散策》

◆実施日：2023-10-24（火）

◆参加者：5名

1. チョコレート工場見学

サンフランシスコで始まった「ダンデライオンチョコレート」のファクトリー&カフェ蔵前を尋ねました。

「Bean to Bar」にこだわり、カカオ豆の選別からロースティング・テンパリング・成型など一貫して行っています。

大量生産のチョコレートとは違った深い味わいを売りにしています。

おしゃれな店内でチョコレートのスイーツも豊富でしたが、私たちは濃厚な味わいのホットチョコレートをいただきました。

製造工程も一部、間近で見られました。

チョコレートバーもホンジュラス・ドミニカ・グアテマラ・エクアドル・ベトナムなどカカオ豆の産地別にいろいろ選べます。

お時間のある時に一度覗いてみては如何でしょうか。

事業内容など詳しくは「[ダンデライオンチョコレート蔵前](#)」で検索してみてください。

記 担当 矢崎



2. イタリアンレストランで昼食

スカイツリーが見えるイタリアンレストランで昼食をとりました。



3. 清澄庭園（きよすみていえん）の散策

清澄庭園は、東京都江東区清澄にある都立庭園で、池の周囲に築山や名石を配置した回遊式林泉庭園で東京都指定名勝に指定されています。

「主な見所」

中島を持つ広い池が中心にあり、ツツジとサツキの植えられた「つつじ山」や池の端を歩けるように石を配置した「磯渡り」などがあります。

また、園内には岩崎家が全国から集めたという名石が無数に置かれています。池には人に慣れた多数のカメがおり、餌をやることができます。

「清澄庭園の歴史」

明治11年に、深川清住町と伊勢崎町の土地約3万坪を、三菱財閥創業者の岩崎弥太郎が買い取り、以降、弟・弥之助、長男・久弥へと岩崎家3代にわたって清澄庭園は引き継がれました。

当時の弥太郎は台湾征伐や西南の役などで大儲けした直後で、海運王となった頃でした。

『岩崎久弥伝』によれば

「ここには旧幕時代の大名屋敷の池庭があり、弥太郎はそれらの庭を改修し、これを総合拡張して新たに林泉の布置を定めてここに一大庭園を造築した。」と記録され、また弥太郎は青年時代から造園に興味があり、特に石が好きだったようです。

出典：清澄庭園 フリー百科事典「ウィキペディア（Wikipedia）」

記 担当 田村



4. 日程

往路 9:25 所沢発 (池袋線快速急行)

練馬発「大江戸線」——「都庁前」乗換

蔵前着=== (徒歩7分) ダンデライオンチョコ見学——

ランチ (シエロイリオ)

蔵前発「大江戸線」——清澄白河着=== (徒歩3分) 清澄白河庭園散策

帰路 清澄白河「大江戸線」——練馬着「西武池袋線」練馬——所沢着16:00

以上